

使用散布機器



左：散布機器及び調製薬液
丸山製作所MSB1500Li
上左右：使用ノズル
ヤマホ2頭口ノズル(NN-D-8Sチップ装着)

使用ノズルの噴霧状況



薬液処理の状況(撮影：7月11日)



無処理区の繁茂状況(撮影：7月11日)



処理区の繁茂状況(撮影：7月11日)



各散布日毎の果実 (写真左:無散布区、写真右:処理区 同一果実を経時的に撮影)



7月11日



7月18日



7月25日



8月1日



8月7日



8月15日



8月22日



9月15日



9月22日

試験場名 一般社団法人 日本植物防疫協会 山梨試験場



A photograph showing a single green kiwifruit hanging from a vine next to a vertical ruler for scale. A white tag is attached to the fruit with handwritten notes.

[illegible][illegible]

調査番号 A-2
調査日 2014/10/24
調査地 ゴウイフルーツ
調査地 日権防山梨
調査日 2014/10/23
調査者

2014
10/24 A-2 10/23

121

採取試料梱包状況



無処理区B B(10月21日)



処理区A A-1(10月21日)



処理区A A-2(10月23日)



処理区A A-3(10月27日)

試料発送荷姿



無処理区B B(10月21日)



処理区A A-1(10月21日)

平成26年度 農薬作物残留量分析試料調製明細書

(試験期間 H26年8月 ～H26年11月)

1. 被験物質

(1) 一般名・剤型 ①DMTP(スプライト水和剤)、②トラネトリン(スカウトフロアブル)、③TPN(タコニール1000)、
④イミノクダジナルベシル酸塩(ヘルクト水和剤)(2) 有効成分名及び成分含有率①DMTP：36.0%、②トラネトリン：1.4%、③TPN：40.0%、
④イミノクダジナルベシル酸塩：40.0%(3) 被験物質の Lot No. ①16.10 N4D04、②16.10 HCD-04SN、③1 DFGOS、
④15.10 HAB-096SM

2. 農作物名 キウイフルーツ 品種名 ヘイワード

3. 試験実施機関名 一般社団法人 日本植物防疫協会高知試験場

試験圃場所在地 高知県土佐市波介 農家露地ほ場

4. 試験責任者氏名 奴田原誠克、松村栄一、内藤 寛

5. 土性 砂土・砂壤土・壤土 埴壤土・埴土 (○を付す) 減水深 ——— cm/日

6. 過去1年間に作付けした作物及び使用した農薬 (別紙としても構いません)

別紙のとおり。

7. 栽培概要

播種期、移植期、施肥の種類・量・時期、樹齢、栽植密度(畝間・株間)・株数(/10a)、水管理等、
被覆資材(茶は寒れい紗番号)、いちご・おうとう等の被覆時期、茶の寒れい紗・トンネル栽培の被覆時期を記載する

露地・施設の別：露地栽培、 有袋・無袋の別：無袋、 仕立て法：棚仕立て

樹齢：27年生、 樹高：約2m 栽植密度(/10a)：約110本(樹間3.0m×3.0m)

施肥 H26/1/11：園芸有機777 60kg/10a

開花日：H26/5/17～6/10、人工受粉日：5/24～6/7、摘果日：6/15、28、その他一般管理は

慣行に従った。 収穫期間(適期)：11月中旬

8. 生育ステージ

試験計画書に指定された生育ステージ
を記入下さい

9. 被験物質以外に使用した農薬(別紙としても構いません)

H26/11/12 トップジンM水和剤1000倍 散布

10. 試験区

(1) 1試験区の面積および本(株)数 処 理 区 A：16.0㎡(4.0m×4.0m)

無処理区 B：16.0㎡(4.0m×4.0m)

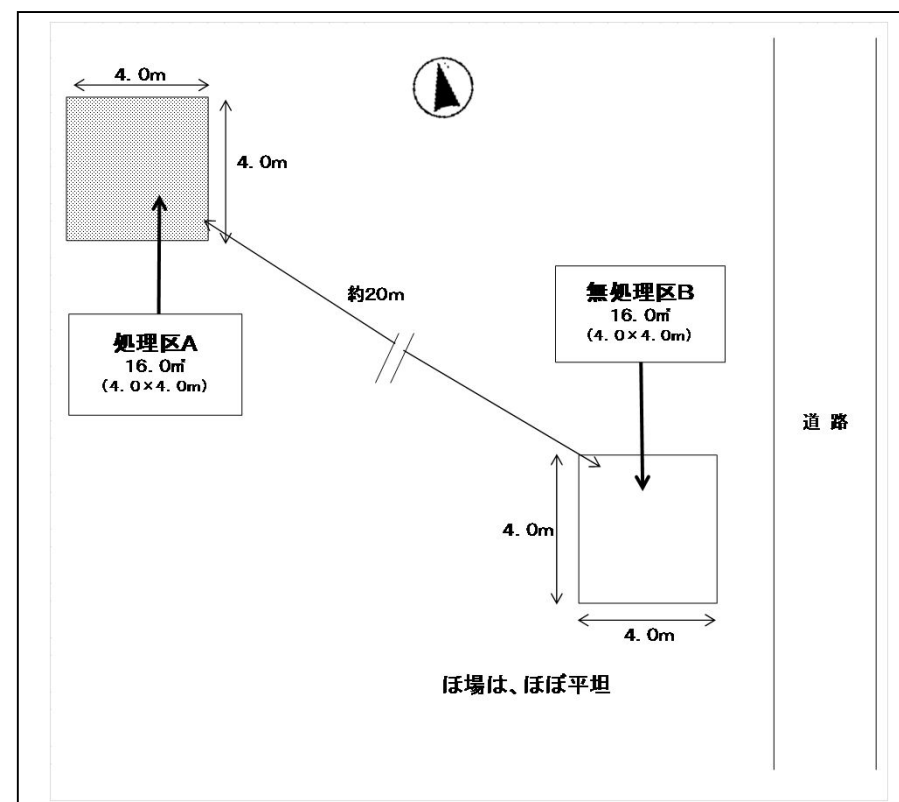
(2) 施設の場合、面積・容積・高さ ———

(3) 試験区の配置図(試験区全体および周辺農地等の状況がわかるように記入して下さい。記入できない場合は別紙としても構いません)

ア) 下口内の点と点を結び、処理区および無処理区の配置関係を作図して下さい。果樹1樹は点を○で囲んで表し、必要に応じて枝の伸長
方向を記載して下さい。

イ) 試験区間および試験区と無処理区との距離を記入して下さい。

ウ) 圃場の畝方向、方位および圃場の傾斜方向を記入して下さい。水田は吸水口および排水溝を記入して下さい。



1.1. 処理方法（下のA～G欄へは該当する処理日に「○」あるいは剤型を記載する）

処理月日	区分	A区	B区	C区	D区	処理濃度	処 理 量		処理時の 生育ステージ	処理方法(概略)
							10a当	試験区当(農薬量/散布量/面積)		
H26 8月 7日	③	無処理				③500倍	350L	③11.2ml/5.6L/16.0m ²	秋芽伸長期*	散布
8月 14日	③					③500倍	350L	③11.2ml/5.6L/16.0m ²	秋芽伸長期	散布
8月 21日	③					③500倍	350L	③11.2ml/5.6L/16.0m ²	秋芽伸長期	散布
8月 28日	③					③500倍	350L	③11.2ml/5.6L/16.0m ²	秋芽伸長期	散布
9月 2日	①, ③					①1500倍、③500倍	350L	①3.7g、③11.2ml/5.6L/16.0m ²	秋芽伸長期	散布
9月 7日	①, ③					①1500倍、③500倍	350L	①3.7g、③11.2ml/5.6L/16.0m ²	秋芽伸長期	散布
9月 12日	①, ③					①1500倍、③500倍	350L	①3.7g、③11.2ml/5.6L/16.0m ²	秋芽伸長期	散布
10月 14日	②, ④			①スプライト水和剤		②1500倍、④1000倍	350L	②3.7ml④5.6g/5.6L/16.0m ²	成熟期	散布
10月 21日	②, ④			②スカウトフロアブル ③ダコニール1000		②1500倍、④1000倍	350L	②3.7ml④5.6g/5.6L/16.0m ²	成熟期	散布
10月 27日	②, ④			④ヘルコート水和剤		②1500倍、④1000倍	350L	②3.7ml④5.6g/5.6L/16.0m ²	成熟期	散布
11月 3日	②, ④					②1500倍、④1000倍	350L	②3.7ml④5.6g/5.6L/16.0m ²	成熟期	散布
11月 10日	②, ④					②1500倍、④1000倍	350L	②3.7ml④5.6g/5.6L/16.0m ²	収穫期	散布

処理月日	区分	処理方法の詳細、 処理時の環境条件等	処理時の使用器具(機械)、樹幹塗布、湛水散布時の水管理、 土壌混和時の深度、土壌水分、種子消毒時の水温・液比等	処理時刻、処理時の天候を含む処理日の天気概況 特に降雨の有無と降雨時間、処理時および処理直後の風が試験に及ぼした影響について記入する
H26 8月 7日		背負式バッテリー動力噴霧機(丸山製作所製 MSB151-A)にエコシャワーH10ノズル1頭口(丸山製)を装着して均一に散布した。		処理開始時刻 10:25、処理時天候 晴れ、 処理当日天候 晴れのちくもり、 処理約9時間前に降雨があったが処理時には作物は乾いており試験に影響なし、 風の影響はなし
8月 14日		背負式バッテリー動力噴霧機(丸山製作所製 MSB151-A)にエコシャワーH10ノズル1頭口(丸山製)を装着して均一に散布した。		処理開始時刻 10:50、処理時天候 くもり、 処理当日天候 くもりのち雨、 処理約4時間後に降雨があったが薬液は乾いており試験に影響なし、 風の影響はなし
8月 21日		背負式バッテリー動力噴霧機(丸山製作所製 MSB151-A)にエコシャワーH10ノズル1頭口(丸山製)を装着して均一に散布した。		処理開始時刻 18:15、処理時天候 くもり、 処理当日天候 くもり時々雨、 処理4時間前と4時間後に降雨があったが薬液は乾いており試験に影響なし、 風の影響はなし
8月 28日		背負式バッテリー動力噴霧機(丸山製作所製 MSB151-A)にエコシャワーH10ノズル1頭口(丸山製)を装着して均一に散布した。		処理開始時刻 10:55、処理時天候 くもり、 処理当日天候 くもりのち一時雨、 処理約3時間後に降雨があったが薬液は乾いており試験に影響なし、 風の影響はなし
9月 2日		背負式バッテリー動力噴霧機(丸山製作所製 MSB151-A)にエコシャワーH10ノズル1頭口(丸山製)を装着して均一に散布した。		処理開始時刻 15:50、処理時天候 くもり、 処理当日天候 晴れ時々くもりのち一時雨、 処理約4時間後に降雨があったが薬液は乾いており試験に影響なし、 風の影響はなし
9月 7日		背負式バッテリー動力噴霧機(丸山製作所製 MSB151-A)にエコシャワーH10ノズル1頭口(丸山製)を装着して均一に散布した。		処理開始時刻 8:55、処理時天候 くもり、 処理当日天候 くもり時々晴れのち一時雨、 処理約6時間後に降雨があったが薬液は乾いており試験に影響なし、 風の影響はなし
9月 12日		背負式バッテリー動力噴霧機(丸山製作所製 MSB151-A)にエコシャワーH10ノズル1頭口(丸山製)を装着して均一に散布した。		処理開始時刻 14:15、処理時天候 晴れ、 処理当日天候 晴れ時々くもり、 風の影響はなし
10月 14日		背負式バッテリー動力噴霧機(丸山製作所製 MSB151-A)にエコシャワーH10ノズル1頭口(丸山製)を装着して均一に散布した。		処理開始時刻 14:30、処理時天候 くもり、 処理当日天候 晴れ時々くもり、 風の影響はなし
10月 21日		背負式バッテリー動力噴霧機(丸山製作所製 MSB151-A)にエコシャワーH10ノズル1頭口(丸山製)を装着して均一に散布した。		処理開始時刻 10:05、処理時天候 晴れ、 処理当日天候 晴れ時々くもり、 風の影響はなし
10月 27日		背負式バッテリー動力噴霧機(丸山製作所製 MSB151-A)にエコシャワーH10ノズル1頭口(丸山製)を装着して均一に散布した。		処理開始時刻 10:35、処理時天候 晴れ、 処理当日天候 晴れ、 風の影響はなし
11月 3日		背負式バッテリー動力噴霧機(丸山製作所製 MSB151-A)にエコシャワーH10ノズル1頭口(丸山製)を装着して均一に散布した。		処理開始時刻 11:15、処理時天候 晴れ、 処理当日天候 晴れ、 風の影響はなし
11月 10日		背負式バッテリー動力噴霧機(丸山製作所製 MSB151-A)にエコシャワーH10ノズル1頭口(丸山製)を装着して均一に散布した。		処理開始時刻 14:15、処理時天候 晴れ、 処理当日天候 晴れ、 風の影響はなし

(1) 展着剤 ——— 使用した区番号 ——— 展着剤名 ——— 濃度または量 ———

(2) 備考 * この時期には、果実肥大はほぼ終了している。

H26 グループ化（キウイフルーツ）

試験場名 一般社団法人 日本植物防疫協会高知試験場

1 2. 試料採取（試料番号は試料送付時に「送付カード」に記入したものを記載する）

区 分 採取月日	A 区 試料番号	B 区 試料番号	C 区 試料番号	D 区 試料番号	E 区 試料番号	F 区 試料番号	G 区 試料番号	試料採取時刻と天候	試料採取順（区番号順）	試料送付量	試料送付月日
H26 11月 11日	A-1	B (無処理)						A-1 : 7:35～ 7:40 晴れ B : 7:20～ 7:30 晴れ	B→A	各区2kg以上かつ30個以上 × 1 分析	11月 11日
11月 13日	A-2							A-2 : 7:50～ 8:00 晴れ	A	2kg以上かつ30個以上 × 1 分析	11月 13日
11月 17日	A-3							A-3 : 7:25～ 7:35 くもり	A	2kg以上かつ30個以上 × 1 分析	11月 17日
月 日										各区 以上× 分析	月 日
月 日										各区 以上× 分析	月 日
月 日										各区 以上× 分析	月 日
月 日										各区 以上× 分析	月 日

区 分 採取月日	送付試料について（該当項目に○を付し、必要に応じてその原因を記載する）
H26 11月 11日	1. 試料の大きさは（やや大きい ☒ 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある） 2. 熟期は（やや早い ☒ 通常 やや過熟） 3. その他（ ） 4. 原因
11月 13日	1. 試料の大きさは（やや大きい ☒ 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある） 2. 熟期は（やや早い ☒ 通常 やや過熟） 3. その他（ ） 4. 原因
11月 17日	1. 試料の大きさは（やや大きい ☒ 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある） 2. 熟期は（やや早い ☒ 通常 やや過熟） 3. その他（ ） 4. 原因
月 日	1. 試料の大きさは（やや大きい 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある） 2. 熟期は（やや早い 通常 やや過熟） 3. その他（ ） 4. 原因
月 日	1. 試料の大きさは（やや大きい 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある） 2. 熟期は（やや早い 通常 やや過熟） 3. その他（ ） 4. 原因
月 日	1. 試料の大きさは（やや大きい 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある） 2. 熟期は（やや早い 通常 やや過熟） 3. その他（ ） 4. 原因
月 日	1. 試料の大きさは（やや大きい 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある） 2. 熟期は（やや早い 通常 やや過熟） 3. その他（ ） 4. 原因

(1) 試料採取方法

使用した器具（機械）、採取方法の詳細、
採取後乾燥のための輸送方法を記載

試験区全体から偏りがないように、できるだけ大きさのそろった果実を手で採取し、未使用の包装紙を敷いた採取用カゴに入れ高知試験場試料調製室まで自動車で運んだ。

(2) 採取後の調製・梱包方法

採取した果実は試験区毎に未使用の包装紙を敷いたダンボール箱に同じ方向に並べ、上から包装紙を被せ果実が動かないように隙間に包装紙を詰めた。ダンボール箱には試験区ラベル及び
梱包シールを貼り付け梱包した。

(3) 試料送付先 分析機関 一般財団法人 残留農薬研究所

(4) 試料の輸送方法

到着日指定、温度指定、
輸送会社等

ヤマト運輸株式会社の冷蔵便を使用し、送付翌日午前着で送付した。

(5) 備 考

気 象 表

観測地点 高知市比島町 高知地方気象台（アメダス観測地点、試験地からの距離：約 15 k m）

記号； ○：薬剤処理日

試料調製場所 高知県土佐市波介 農家露地ほ場

△：試料採取日

気温：平均気温（ 1 時間毎）

降水量：日界 時

（ 2 6 年 ）

測定時刻 午前 時

月	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
8	気温（施設内温度）							27.5	25.2	25.5	28.3	26.7	26.9	27.6	27.0	27.4	26.9	28.3	25.8	27.5	27.0	26.9	25.1	26.6	26.3	27.4	29.3	27.3	25.1	23.3	24.4	25.6
	降 水 量							0.5	41.5	125.5	164.5				8.0	82.5	75.0	4.5	48.0	6.5	9.0	3.0	67.0	6.0	15.5	0.5	0.5	19.5	4.5	3.0		
	薬剤処理/試料採取							○							○							○							○			
	区記号（試料番号）							A							A							A							A			
9	気温（施設内温度）	24.6	25.2	25.1	25.7	26.4	26.5	24.6	25.5	24.6	24.9	23.9	24.2	22.9	23.1	22.6	24.9	24.2	23.2	20.5	19.1	20.8	22.7	22.8	23.5	26.3	24.8	23.9	24.6	23.3	23.6	
	降 水 量	2.0	2.5	133.0	65.0	12.0	20.5	22.5	0.5			3.5									0.5		1.0		55.5	0.5						
	薬剤処理/試料採取		○					○					○																			
	区記号（試料番号）		A					A					A																			
10	気温（施設内温度）	24.6	23.1	24.2	23.1	21.9	22.9	20.0	20.8	22.4	22.6	22.0	21.7	23.2	19.6	17.9	17.2	17.6	17.6	18.6	20.7	21.7	20.2	19.0	18.6	19.9	20.6	20.3	16.0	15.7	18.1	18.7
	降 水 量		6.0			47.0	5.5						18.0	139.5							11.0		3.5									28.5
	薬剤処理/試料採取														○							○						○				
	区記号（試料番号）														A							A						A				
11	気温（施設内温度）	18.8	18.9	15.2	14.1	15.6	18.7	17.2	16.6	15.6	17.6	16.9	17.2	12.0	9.6	10.4	11.7	12.0														
	降 水 量	12.5					1.5			9.5		0.5	1.5																			
	薬剤処理/試料採取			○							○	△		△				△														
	区記号（試料番号）			A							A	A-1, B		A-2				A-3														
	気温（施設内温度）																															
	降 水 量																															
	薬剤処理/試料採取																															
	区記号（試料番号）																															
	気温（施設内温度）																															
	降 水 量																															
	薬剤処理/試料採取																															
	区記号（試料番号）																															
	気温（施設内温度）																															
	降 水 量																															
	薬剤処理/試料採取																															
	区記号（試料番号）																															

アメダスデータを利用した。

薬剤処理日（ガス抜き等を含む）、試料採取日等を記号で記入する。なお施設試験の場合は該当する記号を「施設内温度」欄へ、露地試験の場合には「気温」欄へそれぞれ記入する。

また、薬剤処理日へは該当する区記号、試料採取日へは該当する試料番号（送付カードと同様の番号）を当該欄へ記入する。

別紙

6. 過去1年間に使用した農薬

作物:キウイフルーツ

〔処理区A〕

H25 11/ 2 トップジンM水和剤1000倍 散布

H26 1/11 機械油乳剤15倍 散布

5/ 3 トップジンM水和剤1000倍、アドマイヤーフロアブル2000倍 散布

7/ 5 トップジンM水和剤1000倍、コテツフロアブル2000倍 散布

〔無処理区B〕

H25 10/16 トップジンM水和剤1000倍 散布

10/22 スミブレンド水和剤2000倍、トップジンM水和剤1000倍 散布

10/30 ストロビードライフロアブル2000倍、スミブレンド水和剤2000倍、トップジンM水和剤1000倍、スタークル顆粒水溶剤1000倍 散布

11/ 6 ストロビードライフロアブル2000倍、スミブレンド水和剤2000倍、トップジンM水和剤1000倍、スタークル顆粒水溶剤1000倍 散布

11/12 ストロビードライフロアブル2000倍、スミブレンド水和剤2000倍、トップジンM水和剤1000倍、スタークル顆粒水溶剤1000倍 散布

H26 1/11 機械油乳剤15倍 散布

5/ 3 トップジンM水和剤1000倍、アドマイヤーフロアブル2000倍 散布

7/ 5 トップジンM水和剤1000倍、コテツフロアブル2000倍 散布



ほ場全景



処理区 A



無処理区 B

試験区の写真

(H26グループ化キウイフルーツ作物残留試験)



8月7日



8月14日



8月21日



8月28日



9月2日



9月7日

処理時（処理区A）の果実写真（1）
（H26グループ化キウイフルーツ作物残留試験）



9月12日



10月14日



10月21日



10月27日



11月3日



11月10日

処理時（処理区A）の果実写真（2）
（H26グループ化キウイフルーツ作物残留試験）



B



A - 1



A - 2



A - 3

採取・梱包時の果実写真
 (H26グループ化キウイフルーツ作物残留試験)